

パプリカ 病害虫防除暦 2026年(令和8年)

JA庄内たがわ

防除体系(登録薬剤)

※ミカン→ミカンキイロアザミウマ

2026.1.7時点の農業登録情報をもとに作成

時期	対象病害虫										薬剤名	使用量及び希釈倍数	100L当たり薬剤量	使用時期	使用回数	RACコード	備考	
	ナメクジ類	ネコブセンチュウ	アブラムシ類	アザミウマ類*	ハダニ類	チャノホコリダニ	コナジラミ類	オオタバコガ類	タバコガ類	ハスモンヨトウ								うどんこ病
定植前～定植時		○										ネマトリンエース粒剤	15～20kg/10a		定植前	1回	I:1B	全面土壌混和
			○	○			○					ブリロッソ粒剤オメガ	2g/株		育苗期後半～定植時	1回	I:28	株元散布
			○				○					ベストガード粒剤	1～2g/株		定植時	1回		植穴処理土壌混和
生育期			○			○						ベストガード水溶剤	1,000倍 100g		収穫前日まで	3回以内	I:4A	
			○	○			○					モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4,000倍 25g		収穫前日まで	2回以内		
				○			○	○		○		ディアナSC	2,500倍 40ml		収穫前日まで	2回以内	I:5	
							○	○	○		○	アニキ乳剤	2,000倍 50ml		収穫前日まで	3回以内		
							○	○				アフーム乳剤	2,000倍 50ml		収穫前日まで	2回以内	I:6	
							○	○				コロマイト乳剤	1,000倍 100ml		収穫前日まで	2回以内		
			○				○					コルト顆粒水和剤	4,000倍 25g		収穫前日まで	2回以内	I:9B	
				○			○					コテツフロアブル(劇)	2,000倍 50ml		収穫前日まで	2回以内	I:13	
							○			○		プレオフロアブル	1,000倍 100ml		収穫前日まで	2回以内	I:UN	
							○	○			○	ハチハチ乳剤(劇)	1,000倍 100ml		1回	I:21A F:39		
										○	○	プレバソフロアブル5	1,000倍 100ml		収穫前日まで	2回以内		
				○	○		○	○				ベネビアOD	2,000倍 50ml		収穫前日まで	3回以内	I:28	
				○			○	○				ヨーバルフロアブル	2,500倍 40ml		収穫前日まで	3回以内		
				○								ウララDF	3,000倍 33g		収穫前日まで	2回以内	I:29	
				○	○	○	○	○				モベントフロアブル	2,000倍 50ml		収穫前日まで	3回以内	I:23	
							○					ダニロンフロアブル	1,000倍 100ml		収穫前日まで	3回以内	I:21A	
							○					ダニサラバフロアブル	1,000倍 100ml		収穫前日まで	2回以内	I:25A	同一成分とみなし連用しない
							○					ダニコングフロアブル	3,000倍 33ml		収穫前日まで	1回	I:25B	
							○					ダニオーテフロアブル	2,000倍 50ml		収穫前日まで	2回以内	I:33	
				○			○				○	エコピタ液剤	100倍 1000ml		収穫前日まで	-	I:未	スポット散布 【野菜類での登録(いちご、トマト、ミニトマト、きゅうり、なすを除く)】
			○								スラゴ	1～5g/㎡		発生時	-	I:UN	発生・加害箇所又は株元に配置	
	べと病	軟腐病	菌核病	斑点細菌病	灰色かび病	炭そ病	黒枯病	斑点病	疫病	うどんこ病		薬剤名	希釈倍数	100L当たり薬剤量	使用時期	使用回数	RACコード	備考
										○	トリフミン水和剤	3,000倍 33g		収穫前日まで	5回以内	F:3	予防・治療	
										○	ランマンフロアブル	2,000倍 50ml		収穫前日まで	4回以内	F:21	予防・治療	
										○	ユニフォーム粒剤	3g/株		収穫前日まで	3回以内	F:11 F:4	予防・治療 株元散布	
						○	○	○	○	○	アミスターオブティフロアブル	1,000倍 100ml		収穫前日まで	3回以内	F:11 F:M05	予防・治療	
						○	○	○		○	ダコニール1000	1,000倍 100ml		収穫前日まで	3回以内	F:M05	予防	
						○				○	カスミンボルドー	1,000倍 100g		収穫前日まで	5回以内	F:24 F:M01	予防・治療 高温時薬害注意	
	○	○									ドイツボルドーA	500倍 200g		-	-	F:M01	予防 高温時薬害注意 【野菜類での登録】	
						○	○			○	パレード20フロアブル	2,000倍 50ml		収穫前日まで	3回以内	F:7	予防・治療	
						○					ロブラール水和剤	1,000倍 100g		収穫前日まで	4回以内	F:2	予防・治療	
						○					スクレアフロアブル	2,000倍 50ml		収穫前日まで	3回以内	F:11	予防・治療	
						○				○	カリグリーン	800倍 125g		収穫前日まで	-	F:NC	予防・治療 【野菜類での登録 (トマト、ミニトマトを除く)】	

留意事項 ※パプリカにはピーマン、野菜類、なす科果菜類に登録がある農薬も使えます。

・使用時期の「収穫前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで、収穫出来ないことを示します。

・農薬ごとの作用性を分類したものを「RACコード」といい、製品ラベルなどに表示されている。農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用が

その発生要因であると考えられている。RACコードが同一であれば、有効成分が異なっても同一系統の薬剤なので、連用は避ける。

* 10a(300坪)の散布量⇒生育に応じて200～300%

適正管理対策

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら、予防・発生初期防除を心がける。
2. 適正な栽培密度とし、整枝・誘引を実施し、通風・作業性の改善を図る。
3. 圃地の適正な排水管理を行う。
4. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。
5. ミツバチへの配慮を行う。

防除機具の洗浄不足対策

- ・防除器具は、前回散布後にじゅうぶん洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整前にもう一度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用後、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水などに流さないようにしましょう。